

消防団の現状（人員・装備等） について

地域の消防防災力

消防職団員数

(平成28年4月1日時点、単位：人)

	住基人口 (H28. 1. 1 時点)	面積 (km ²)	消防職員		消防団員		消防職団員	
			職員数	人口に占める割合	団員数	人口に占める団員の割合	職団員数	人口に占める職団員の割合
全国	128, 066, 211	272857. 76	163, 043	0. 13%	856, 278	0. 67%	1, 019, 321	0. 80%
新潟県	2, 319, 435	12629. 55	3, 306	0. 14%	37, 827	1. 63%	41, 133	1. 77%
新潟市	802, 936	726. 45	936	0. 12%	5, 991	0. 75%	6, 927	0. 86%
糸魚川市	45, 080	746. 24	90	0. 20%	1, 040	2. 31%	1, 130	2. 51%

(「平成28年度消防防災・震災対策現況調査」(H28.4.1現在)より)

消防団が保有する消防ポンプ数

消防団の保有する動力消防ポンプは、全国で約6万5千台あり、放水能力はポンプの規格^(※)により区分されている。また、自動車等の機動力を有するポンプは49,806台(76.5%)あり、一定の機動力を有している。

※「動力消防ポンプの技術上の規格を定める省令」(昭和61年自治省令第24号)

(単位：台)

	消防ポンプ 自動車		水槽付消防 ポンプ自動車		動力ポンプ 積載車		水槽車 (動力ポンプ付)		小型動力ポンプ (非積載)		手引動力 ポンプ	
	常備	非常備	常備	非常備	常備	非常備	常備	非常備	常備	非常備	常備	非常備
全国	3, 893	13, 240	3, 830	973	426	35, 396	559	197	1, 900	12, 742	1, 298	2, 527
新潟県	119	171	70	0	6	2, 151	11	3	34	403	0	304
新潟市	27	33	20	0	0	413	0	0	0	0	0	0
糸魚川市	4	0	2	0	1	74	1	0	5	0	0	5
ポンプ 能力	B－1級以上 (規格放水量 1. 5 m ³ /分)				B－2級・B－3級 等 (同 1. 0 m ³ /分) (同 0. 5 m ³ /分)							
機動性	常時、自動車に積載								別途車両に積載		手引台車に積載	

(「平成28年度消防防災・震災対策現況調査」(H28.4.1現在)より)2

◆消防団の特性

- ・地域密着性（消防団員は管轄区域内に居住、勤務、通学）
- ・要員動員力（消防団員数は消防職員数の約5.3倍）
- ・即時対応力（日頃の教育訓練により、災害対応の技術・知識を習得）

● 管轄区域外での消防団活動に係る規定（消防組織法）

消防組織法第十八条第三項

消防本部を置く市町村においては、消防団は、消防長又は消防署長の所轄の下に行動するものとし、消防長又は消防署長の命令があるときは、その区域外においても行動することができる。

● 東日本大震災を踏まえた大規模災害時における消防団活動等のあり方等 に関する検討会報告書（平成24年8月）（抜粋）

東日本大震災においても、岩手県内の消防団による広域応援が岩手県内及び宮城県気仙沼市において実施され、高い評価を受けた。

また、消防団に係る応援協定が結ばれている例も多い。（中略）

消防団員は他に生業等を有していること等から、遠く離れた地域への長期間にわたる応援出動は難しいという事情もある一方で、比較的短期間、同一都道府県内や隣接した地域・都道府県であれば応援出動することも可能と考えられ、（略）。

消防団による広域応援②

消防団による広域応援活動の例（大規模災害時における広域応援）

●東日本大震災（平成23年3月）

- ・岩手県の7市町村（遠野市、一関市、平泉市、住田町、岩泉町、久慈市、普代村）から、特に被害が多かった地域に対して、延べ1,400人以上の消防団員が応援出動
- ・主な活動内容：捜索活動、消火活動（林野・建物火災）、警戒活動（夜間警戒）、がれき撤去活動

●広島市土砂災害（平成26年8月）

- ・広島県の8市町（廿日市市、安芸高田市、府中町、海田町、熊野町、坂町、安芸太田町、北広島町）から、広島市に対して、41人の消防団員が応援出動
- ・主な活動内容：要救助者の検索・救助活動

消防団の相互応援協定の例

類型	具体例	概要	対象災害	主な規定内容	実績
非常備（消防団）の応援のみを定めた協定	滋賀県下消防団広域相互応援協定書	県内に <u>大規模災害が発生した際</u> における県内の消防団の広域相互応援体制について協定（常備については別途協定あり）	災害発生市町の消防力と応援協定を締結している隣接市町の消防力をもつてしても防ぎょ困難な大規模災害等（大規模な地震・風水害等の自然災害、大規模な火災・林野火災 等）	・応援要請や派遣等のスキーム ・経費負担 ・事前計画 等	なし
常備と非常備の両方について定めた協定	福岡県消防相互応援協定書	県内に <u>大規模災害が発生した場合</u> の相互応援について協定（消防団も登録消防隊として記載）	大部隊、特殊部隊、資機材等の応援を必要とするもの（大規模な林野火災等、地震・風水害その他大規模災害 等）	・応援要請や派遣等のスキーム ・経費負担 ・応援可能消防隊（常備及び非常備）	なし

消防団による消防力の補完

緊急消防援助隊が出動した場合に、各本部において消防力を補完・確保するために、消防団を活用するといった考え方を示している例もある。

- ・消防団員のポンプ置場等への常駐による消防力の維持
- ・災害発生時の消防団員の招集体制の迅速化と出場範囲の拡大 等

消防団員の安全装備

＜糸魚川市大規模火災における人的被害＞

消防団員の負傷者：15名（中等症1名、軽傷14名）、27歳～53歳、すべて男性

〔内訳〕 煙・飛散物による目の負傷（11名）、釘の踏抜きによる足の負傷（2名）、その他（2名）

＜消防団員の安全装備＞

「消防団の装備の基準」に掲げる装備及び必要配備数と実際の配備数は以下のとおり。

装備品	必要配備数	配備数	
		全国 (団員数：856,278人)	糸魚川市 (団員数：1,040人)
[消火活動用]			
防火衣	ポンプ操作をする消防団員及び部長以上の階級にあるすべての消防団員	375,209	684
防火帽		550,504 (注1)	684 (注2)
防火用長靴 (注3)		641,987 (注4) (279,001)	456 (注5) (10)
[救助活動用]			
防塵メガネ	すべての消防団員	— (注6)	(保有せず)

（「平成28年度消防防災・震災対策現況調査」（H28.4.1現在）及び糸魚川市消防本部への聞き取りによる）

注1：シールドの有無は把握していない。

注2：シールドは付いていない。

注3：踏抜き防止板入り

注4：カッコ内は救助用半長靴の数（内数）

注5：負傷した2名が履いていた靴は個人の所持品

注6：統計上把握していない。



防火帽（イメージ）



防火帽〔シールド付〕
（イメージ）



防火用長靴（イメージ）



防火用長靴（イメージ）



防塵メガネ（イメージ）

(参考) 糸魚川市消防団 可搬式消防ポンプの状況

※糸魚川市消防本部から聞取り

区分		台数	備考	対応
保有している可搬式ポンプ数 (H28. 12. 22火災発生時)		79	・可搬式ポンプ積載車 74台 ・手引き台車乗せ 5台	
現場で稼働させた可搬式ポンプ数		67		
	現場で放水しており、不具合が発生した可搬式ポンプ数 (<u>その後も放水は可能</u>)	18	[主な損傷原因] ・長時間の締切運転、ウォーターハンマー ・中継送水時の過大圧による破損 ・水利の細かな砂等による詰まり ・マフラー、吐水口ねじ部腐食 ・真空ポンプブレードの破損 ・落下物等の外的力による破損	18台すべて 点検又は修理
	現場で放水しており、不具合が発生した可搬式ポンプ数 (<u>その後、放水不可</u>)	3	焼損 1台 機能損傷 2台 ・真空ポンプベルト切断 ・止水弁軸変形	・焼損 → 廃棄(買換え) ・機能損傷 → 修理

→ 保有79台中、67台を稼働させ、うち21台に不具合が発生したところ、20台が要修理(点検含む)、1台が廃棄(買換え)となった。